

グリーンインフラについて

1 グリーンインフラとは

自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方であり、アメリカで発案された社会資本整備手法で、近年、欧米を中心に取組が推進されている。

米国事例

＜ポートランドの取組＞



高層ビルの屋上緑化

雨水管理だけでなく、屋根を保護する効果なども期待されている。

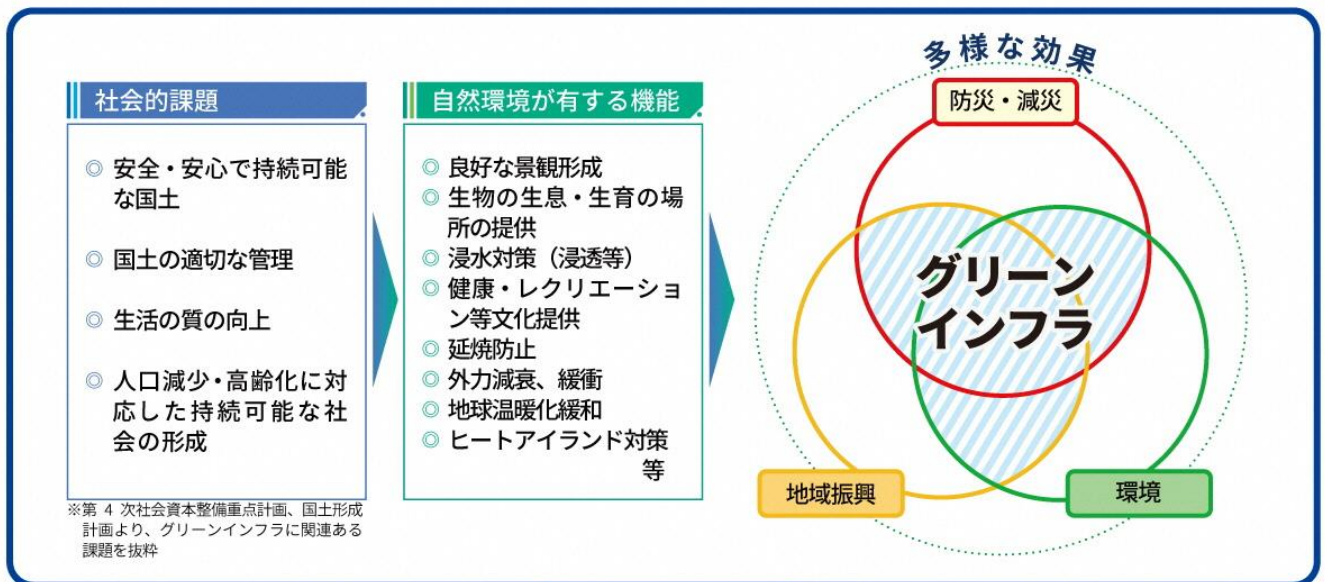


Green Street

道路沿いの緑地の縁石を一部空けて、緑地内に雨水を流し込む仕組みになっている。

2 国土交通省における考え方と取組

国土交通省としては、これまで「グリーンインフラ」と明確に称していないものの、河川や海岸、道路などの幅広い分野における社会資本整備事業等の推進に当たって、自然環境が有する機能を引き出し、地域課題に対応していこうとしており、すでにこれらの取組が、持続可能な社会や自然共生社会の実現、国土の適切な管理、質の高いインフラ投資につながっているとしている。



◎ 防災・減災や地域振興、生物生息空間の場の提供への貢献等、地域課題への対応

◎ 持続可能な社会、自然共生社会、国土の適切な管理、質の高いインフラ投資への貢献

3 国が考えるグリーンインフラに取り組む意義と注意点

- グリーンインフラは地域課題への対応のために行うことから、地域課題を把握し、政策目標を明確化した上で、自然環境が有する多様な機能を活用する手法も含めて、対応案を検討すること。
- 対応案の検討には、社会面、経済面、環境面の評価を行い、整合性を図った取組であること。
- 対応案の選定には、自然環境が良いという観点だけでなく、個別法や地域の状況を踏まえ、技術的、あるいは専門的知見に基づいた検討を行うこと。
- 地域の実情に応じ、水面や緑を増やすことが重要となる場合がある一方、単に量を増やすだけに留まらず、地域の自然環境、社会面、経済面の状況を踏まえ、地域課題の解決につなげていくという視点が重要であるとともに、緑に限らず、水、海岸等様々な自然環境を活用していくものであること。
- 当該取組に関わる住民・関係者等の対象者を適切に把握し、適切なコミュニケーションを実施し、連携を図ることが望まれる。
- 効果を発現するまで時間を要する場合もあることから、順応的な対応と持続可能な仕組みを構築して管理していくことが望ましいこと。
- 可能な限り機能の持続性の担保を図ること。
- 要求する機能を可能な限り明確にするとともに、自然環境の機能の観点から、地域課題への対応への対応に即した目的を有する法令に基づく制度、協定、土地取得、協力要請等により、可能な限り機能の持続性担保を図ること。

麒麟ビール横浜工場の緑地を活用した魅力あるまちづくりへの貢献



取組の位置



地域課題・目的

【地域課題】

- 計画地一帯は旧東海道に接した京浜工業地帯の一角にあり、古くより工場と住宅が混在し、緑地が少なかった。また、空地が少なく防災面で課題があった。一方で、地域の歴史的資産「生麦事件」や年間30万人以上が訪れる観光資源「麒麟ビール工場見学施設」があり、これらを活かしたまちづくりや地域の活性化が求められていた。

【目的】

- 1991年より工場敷地内緑地のうち約14,800m²（写真2）を市民に開放している麒麟ビールは、2008年よりはじまった首都高速道路・横浜市道建設による工場施設再編にあたり、横浜市初事例となる工場立地法敷地外緑地制度を活用するとともに（写真1・3）、生麦地区の歴史と観光を活かしたまちづくりをおこなった。

取組内容

- 横浜市生物多様性横浜行動計画の策定を受け、ビオトープ整備のほか、地元小学校への環境教育（写真4）や自然に親しむガイドツアー等を開催し、生物多様性の確保や普及に努めている。
- 横浜市が推進する京浜の森づくり事業や、地域緑のまちづくり事業による緑の創出、工場立地法敷地外緑地制度などの行政施策との連動に加え、生麦事件碑などの地域資源を織り込みながら（写真5）、緑あふれる街並み整備に取り組んでいる。
- 横浜市との災害協定の締結や鶴見区とのイベント協力、栈橋整備による新たな観光ルートの構築など、ビール工場見学施設とあわせ、グリーンインフラ整備を通じて地域の活性化に取り組んでいる。



取組効果

- これまでの緑地整備により全長約1.1km、面積約33,400m²に及ぶ市民に開放された広大な工場緑地が誕生し、緑のネットワークの強化が図られたほか、地域資源を活かした街づくり、地域の活性化、防災面の強化、生物多様性がうまれた。

表 麒麟ビール横浜工場緑地で確認された生き物

分類	確認数	主な種類
鳥類	12種類	カワヒラ・ツバメ・カルガモ・カケシ
魚類	3種類	ヨコハマメダカ
両生類	4種類	アズマヒキガエル・ニホトガ
水生生物	11種類	ミダゴトウ・ナリアメボ
昆虫類	54種類	ギンヤンマ・ショウリョウバッタトキ



カワヒラ ヨコハマメダカ アズマヒキガエル ショウリョウバッタトキ
 ヨコハマメダカはビオトープ池での保護繁殖による（神奈川県レッドデータ絶滅危惧ⅠA類）
 緑字：神奈川県レッドデータ減少種 赤字：神奈川県レッドデータ絶滅危惧種